

JEOL OB会 会報

第18号

2014.07.27

発行: JEOL OB会 事務局

寄稿 vol.17 『特別な年』

近藤宣之

OB会の皆様こんにちは。ご無沙汰しておりますが、毎年9月のOB会総会には皆様にお目にかかれることをとても楽しみにしております。初めてのこうした寄稿のご依頼をいただき大変感謝しております。それというのも、今年は私にとって日本電子とのご縁で特別な年だからです。

まず、昭和43年(1968年)4月に日本電子に入社してから丁度50年。また、11年間も労組委員長を務めさせていただいた、日本電子連合労働組合が2月に結成されてやはり50周年。さらに、1994年から24年間社長を務めさせていただいた株式会社日本レーザーが4月に創立されてやはり50周年。そうした自分の人生にとって節目の年に、歴史と伝統を誇るJEOL OB会の会報に寄稿できることは、何かのめぐり合わせであり、末永会長はじめOB会役員の皆様のご配慮のお蔭と感謝申し上げます。

振り返りますと、日本電子では企業再建への挑戦の連続でした。まず、28歳から29歳までは、左翼労組から企業を守る労使関係健全化で、流血事件もあった戦い。29歳から31歳までは2度にわたる希望退職で正社員の1000名が会社を去らざるを得なかった過酷な経験。続いて三菱銀行から来られた新社長との企業再建の取り組み。11年間の労組委員長退任後は40歳から米国法人ニュージャージー事業の撤退。45歳で東西冷戦の終結に伴い、JEOL(USA)が4割もの大幅な受注・売上減で不本意ながらリストラをせざるを得ない事態に直面して、米人社員2割の解雇、日本人駐在員を40家族から20家族まで半減する再建策の実施。



Bostonの自宅に、初めての米人社長、Tom Huber 夫妻、2代目の現地人社長 Gary Cogswell 夫妻を招いて

帰国後の48歳から49歳では、人件費削減のために国内営業の幹部のJEOL会代理店への出向人事での交渉。一段したら50歳になったばかりで、3年連続赤字で債務超過になり、主力銀行に見放された日本レーザーの抜本的再建のために社長として出向。人員削減をせず雇用を守って2年で復配して再建。そして11年後、63歳で、MEBO (Management & Employees Buy-Out) により、日本電子からの独立(新会社へのJEOLの出資は14.9%)——と、波乱万丈でした。



1995年8月に移転した新宿にある現在の本社
(1~3階、350坪)

日本レーザーは海外からレーザー機器を輸入販売するために、円安になればコストアップで損失が出る。期待通り売れなければ代理店を変更されるし、期待より売れると、海外メーカーが代理店販売をやめて、日本法人を設立する。また、最近業界のM&Aが活発で、合併にともない当社が総代理店権を失うことが非常に多くあります。時には親会社から天下った社長に反発した役員や社員が、海外メーカーとつるんで日本レーザーを切り、自分が社長となって日本法人を設立した例も3回あります。このように極めて不安定なビジネスモデルですが、お陰様で社長に就任した1994年度以来、昨年12月期まで24年連続で黒字経営を維持できております。

会長となった今年も上期(6月)を終えて黒字ですので、12月期でも黒字となり、四半世紀連続の黒字経営を達成できる見込みです。有難いことに、日本電子の国内や米国でのこれまでのすべて経験が血となり肉となって、日本レーザーでの経営に活かされた結果であり、日本電子に入社以来、上記のような経験をさせていただいた先輩の皆様、また一緒に戦ってくれた同士の皆様に今改めて心からの御礼をする次第です。



伊藤一夫日本電子3代目社長が来社されて(当時95歳)



2007年に独立以来、お陰様で数々の経営に関する賞をいただきました。主な受賞だけでも以下の通りです。

- 2011年 5月：第1回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞、中小企業庁長官賞受賞。
- 2012年 1月：平成23年度新宿区「優良企業表彰」、大賞（新宿区長賞）受賞。
- 2012年10月：第10回東京商工会議所「勇氣ある経営」大賞、大賞受賞。
- 2013年 3月：経済産業省「ダイバーシティ経営企業100選」全国43社に入選、受賞。
- 2013年 4月：経済産業省「おもてなし経営企業選」全国50社に入選、受賞。
- 2014年 1月：平成25年度東京都ワークライフバランス企業認定（多様な勤務形態導入部門）。
- 2014年 3月：経済産業省「がんばる中小企業300社」に入選、受賞。
- 2015年11月：厚生労働省「キャリア支援企業2015」厚生労働大臣賞受賞。
- 2016年 2月：日本能率協会「KA IKA Awards 2015」KA IKA賞受賞。
- 2017年 1月：第3回「ホワイト企業大賞」受賞。
- 2017年 4月：レーザー学会「産業貢献賞」受賞。

こうした受賞もあり、現在は「働き方改革」や「人を大切にする経営」等で、国内外からの取材や出版、講演依頼が多くありますが、これまでの経験を生かして少しでも多くの皆さんと共に学びながら、少しでもいい企業社会に向けて貢献し、多くの方が幸福になれるように微力ながら務めていきたいと思っております。

末筆になりますが、これまでのご指導・ご厚誼に心からの御礼と感謝を申し上げます。そして皆様が今後ともご健康でご幸福であられるよう祈念致します。有難うございました。

**70歳까지 정년 보장
55명 전 직원이 주주
10년간 이직률 제로
23년 연속 흑자
‘일본에서 가장 소중한 기업 1위’**

곤도의 결심

"나는 절대 누구도 해고하지 않겠다!"

昨年上梓した「ありえないレベルで人を大切にしたら23年連続黒字になった仕組み」（ダイヤモンド社刊）の韓国版の表紙、タイトルは「近藤の決意」

